

個人山行報告書

| | | | |
|--|--|------|------|
| 通算山行NO | NO. 1389 | 報告者 | 後藤隆徳 |
| 年月日 | 2009年11月29日(日・曇) | 2万5千 | 南部 |
| 山名 | 河内筋・篠井山(1394m) | | |
| 体力度=4・やや厳しい 技術度=3・普通 道標=ある 駐車場=ない トイレ=道の駅 展望度=よい 三角点名=篠井山 等級=二等 | | | |
| 急登とザレの山 | | | |
| コースとタイム | 下土狩5:00-楮根発7:15-馬込登山口発7:45-篠井山11:43 30~12:30-奥山登山口13:40-奥山温泉14:00 | | |
| 標高差 | 上り 楮根集落約150m~篠井山1394m=約1244m 下り 篠井山1394m~奥山登山口約700m=約694m | | |
| 参加者 | L後藤、近森、土屋、ほか | | |



この山は99年、会の忘年山行で上った。ルートは今回と同じ馬込集落から。こちらは奥山より標高差が大きく楽しめるコース。10年振りでもないが、バスは一つ手前の楮根(かぞね)集落に入ってしまった。標高はたったの150mと低い。またバスを呼ぶのも面倒なので一つ尾根を越えて馬込集落に出て正規の登山口に辿り着いた。

最初は林道から植林地に入る。地元の林業作業小屋があり、泥棒防止の自動センサーが働き、大音響で「弩演歌」が山々に山響(こだま)した。これには、いささか驚いたがやり過ぎだよね~。

ここから本格的な急登が始まる。それは2万5千円を見れば一目瞭然で、ビッチリ隙間なく等高

線が描かれている。しかも、余り歩かれていないルート故、ザレ状の所に落葉が堆積し始末が悪い。まあ、それだから面白いのだが・・・。

標高910mには四等三角点があり、立派な標柱が埋設されていた。四等三角点の標柱は、あまり見たことがない。

この上は細い尾根となり、やや足元が悪い。大きい岩壁があり下を巻いた。この辺は10年前の記憶は飛んでいる。歳の性ではないと思うが・・・(笑)

昔あったお寺の跡付近には立派な「あすなろ」が林立していた。(右写真)これは人の手によるものだ。その先の神社を越えて三角点の頂上着。

今日会った登山者はここの二人のみ。下山後、入った「奥山温泉」は素晴らしい。

